

2017年度 強化合宿レポート(6月) No.2

作成：尾形スタッフ

JAPAN SPORT

COUNCIL

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

- 日時：2017年6月27日(火)
■場所：東京 有明テニスの森

■参加者：

《デフリンピック代表》

親松直人、梶下怜紀、笹島航太

前回の甲南大学合宿で、危機感をおぼえた選手から練習の要望があり、選手のための練習を実施しました。

午前中

ラリー(ストレート、2対1、クロス)
サーブレシーブ
笹島選手への球出し(フォア直し)

午後

シングルスゲーム
シングルス形式でのサーブレシーブ1ゲーム交代
クロスのパレーストローク
サーブレシーブ

笹島選手

今回は初めて平日に選手が集まり、有明テニスの森でデフリンピックに向けて合宿を行いました。それぞれ、危機感を持ちながら苦手な所を克服しようと頑張りました。僕はフォアハンドがおかしくて、途中で親松選手と梶下選手に球出しをしてもらい、調整しながらフォームの確認を行いました。そして、なんとか本調子まで戻すことができました。バックハンド、サーブ、ボレーに関してはレベルアップしているし、上のレベルにいる二人のラリーに必死についていけました。ラリーを繋げることによって自分の武器も出せるので、最大限のプレーを貫けるようもっとミスを少なくし、相手を先にミスらせる気持ちでデフリンピックにもっていきます。残り2回しか合宿がないので、ピークをデフリンピックにもっていけるよう頑張りますので、応援よろしくお願いします。



梶下選手

6月27日の練習メニューは、シングルス系がメインでした。午前中は、ラリー系を多くし、デフリンピック前なので、基本を確認し直し、そこから試合の中でもコントロールしていけるように仕上げていくことを目標に取り組みました。午後からは、午前中に取り組んだことを踏まえて、シングルのゲームをしました。サーブ、レシーブの練習も取り入れたので、実戦で感覚を確かめながら課題を掴むことをテーマにしていけたゲームだったと思います。最後にダブルスに向けて、パレーストロークの練習を取り入れ、ボレーの形、入り方などの再確認ができました。厳しい日程の中の合宿だったと思いますが、企画、準備をしてくださりありがとうございます。デフリンピックに向けて必要な課題が見えてきた合宿だったと思います。



親松選手

6月27日にデフリンピック代表選手3人が集まり個人練習合宿を行いました。

こないだの甲南大学の反省、課題ができたところを中心に練習をしました。ラリーがほとんどでフットワークもちろんそうですが、自分はフォームを意識することを心掛けながらやりました。

ラリー後シングルスを行い、ラリーで意識したところを中心にプレーをし、少しずつ良くなってきていると思います。

デフリンピックまであと20日ぐらいですが、少しでもレベルアップができるように日々の練習を大切にやっていきたいと思っています。また体のケアなどもしっかりし、準備をしっかりしていきたいです。



集合写真